

# 令和3年度しらかわ介護福祉専門学校 学校関係者評価報告書

## 1 学校関係者評価委員

種別	所属	役職
介護施設等関係者	特別養護老人ホーム	施設長
地域住民	在宅医療支援拠点センター	副所長
校長が必要と認める者	社会福祉法人	相談役

2 評価対象 令和3年度（令和4年3月1日実施）の学校自己評価を対象とした。

## 3 学校関係者評価

評価1 教育理念・目標 自己評価の達成度；5＝良い・4＝やや良い・3＝普通・2＝やや不十分・1＝不十分

評価項目		評価	
(1)	学習内容は、教育理念・教育目標と一貫性があり、時代の要請に応える内容になっているか。	①教員全員で教育課程を検討する場を設けている。	4
		②理念・目的・目標と一貫性の内容となっている	4
		③社会情勢にあわせた内容を含んでいる。	4
		④教育課程評価を行い結果を次年度に反映させている。	4
課題と解決策	教育理念、教育目標を学校パンフレットやホームページに掲載するとともに、教育課程評価会議やシラバス作成においても一貫性に配慮してきた。今後も、さまざまな情報収集や外部講師の活用等により、介護の現状や制度改正等に適正に対応し社会情勢の変化に応じた内容となるよう取り組んでいく。		

### ◆ 評価委員からの意見

教育課程評価も実施して適切に検討し、魅力ある学習内容づくり取り組まれ、教育理念等の周知や共有にも努められている。

## 評価2 学校運営

評価項目		評価	
(1)	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、評価結果をもとに改善計画を策定しているか。	①学校評価を教職員に周知している。	5
		②学校評価をもとに改善計画を策定している。	5
		③中間評価との関連で改善計画を策定している。	4
課題と解決策	学校評価には教職員全員で取り組んで結果を共有し、改善計画の作成と中間評価を行った。中間評価を行うことで、改善計画の進捗状態を確認することは重要であり、継続的に行う必要がある。		

### ◆ 評価委員からの意見

学校評価をもとに改善計画の策定や中間評価により進捗管理を行っている。今後も継続的に取り組んでいただきたい。

評価3 教育活動

		評価項目	評価
(1)	授業計画が作成され、教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようにしているか。	①内容が具体的である。	4
		②シラバスに示された内容を実施している。	4
		③前年度の評価結果（授業アンケート結果など）を参考に各担当で授業（講義・演習・施設実習）案を検討している。	4
	課題と解決策	学生による授業評価等を参考に各担当が授業計画を検討し、シラバスには教科ごとの到達目標を表記して授業目的を明確にした。学生が授業に積極的に参加できるよう具体的な内容の提示に努める必要がある。	
(2)	効果的授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか。	①時間割作成時に授業担当教員と調整している。	5
		②時間割は学生の状況に合わせて作成している。	4
		③学習の順序性を考慮した時間割となっている。	4
		④学生に時間割りを発表している。	5
	課題と解決策	学習の順序性を考慮したうえで非常勤講師の時間割にも配慮し、適宜調整して効果的な授業運営に努めた。	
(3)	学生に単位認定のための評価基準と方法を提示しており、評価に公平性・妥当性が保たれているか。	①評価基準を書面で提示している。	5
		②評価方法及び評価結果を学生に説明している。	5
		③演習や校内実習、施設実習の評価を複数で行うように努力している。	5
		④演習、校内実習、施設実習について公平・妥当な評価を目指して基準の見直しを毎年行っている。	4
	課題と解決策	評価基準を書面で提示し、演習等は複数指導者で評価し公平性を保つとともに、基準の見直しに取り組んだ。	
(4)	学生の単位取得に向けた支援を実施しているか。	①教員は、初回授業で科目目標、評価目標などを学生に説明している。	5
		②教員は未修得の科目の分析している。	4
		③教員は学生が未修得となった理由を自己分析するよう指導している。	4
		④教員は、学生の自己分析結果に基づき、対応策を学生と検討し、指導している。	4
		⑤成績不良者を対象として定期的な学習会等を実施している。	4
	課題と解決策	未修得科目がないよう単位取得に関する学生への説明と状況把握に努めて個別指導を実施した。成績不良者には必要に応じて学習支援を行っている。	
(5)	学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し授業の改善に努めているか。	①専任教員は、全員が授業評価を実施している。	5
		②専任教員は、全員が自己評価を実施している。	5
		③評価結果について教員間で共有し、次年度に向けて改善計画を明文化している。	4
	課題と解決策	専任教員全員が学生による授業評価及び自己評価を実施し、必要に応じて非常勤講師も交えての教科会議を開催し、評価結果の共有を図るとともに、次年度に向けて授業の改善に取り組んでいる。	
(6)	実習目標が達成されるよう実習環境が整備されているか。	①実習先にカンファレンスルームや学生が記録や学習をする場所が整備されている。	4
		②学生が実習中は、毎日指導するスタッフがいる。	5
		③定期的な巡回指導により実習環境の整備に努めている。	5
	課題と解決策	実習先の協力のもと、週1回の巡回指導を基本に教員が情報収集し実習環境の整備に努めた。今後も実習目標が達成できるよう実習先や学生との調整を図っていく必要がある。	

(7)	実習指導者と教員の役割を明確にし、互いに協力し実習指導にあたる体制があるか。	①定期的に指導者会を開催している。	5
		②実習指導者と教員との事前打ち合わせ、事後反省会を行っている。	4
		③学生の日々の学習方法や指導方法について教員と指導者と適宜意見交換している。	4
		④実習指導者、教員の役割を明文化したマニュアル等がある。	4
課題と解決策	指導者会議や実習報告会、教員の巡回指導等を通して指導者と意見交換を行い実習目標の共有を図った。今後も最終巡回指導等に実習全体の振返りと改善策を検討して次年度に反映でききるよう努める必要がある。		
(8)	実習時の利用者への倫理的配慮を励行しているか。	①利用者への倫理的配慮について指導を行い、学生は倫理に基づいた言動を心掛けている。	4
		②倫理的な事柄に関連した利用者からの苦情申し立てがない。	4
課題と解決策	倫理的配慮や個人の尊厳についてはさまざまな授業の中で学習機会を設け繰り返し教育するとともに、演習や実習を通して身につけられるように継続的に指導していく必要がある。		
(9)	実習時のインシデント、アクシデント等を分析し、学生指導に生かしているか。	①インシデント等発生時のマニュアルを作成している。	4
		②実習前に安全教育を行っている。	4
		③インシデント等の情報が速やかに報告され、教員間、学生間で共有している。	4
		④学生が関係したインシデントについて、分析し再発防止に取り組んでいる。	4
		⑤教員・指導者・学生が協働して事故予防策を検討している。	4
課題と解決策	実習前だけでなく講義や校内演習等で事故防止指導を行っており、実習指導者とも意見交換し情報共有と予防対策に取り組んでいる。今後も緊張感をもって実習に臨むとともに事故予防対策の徹底に努める必要がある。		
(10)	教員が計画的に研究調査活動を行えるよう体制を整えているか。	①教員が研究調査活動を実施している。	1
		②教員が研究調査活動に参加している。	1
		③教員が専門性を生かして地域及び施設などで知識・技術向上などの啓蒙活動をしている。	3
課題と解決策	新型コロナウイルス感染症の影響で、学会や研修会等の中止及び参加自粛等により教員がスキルアップするための機会の確保が困難であった。研究・調査活動は教員の主体性を尊重しているものの、時間の確保が課題である。地域の要請に応じて知識技術の啓蒙活動には取り組んでいる。		

◆ 評価委員からの意見

適正に評価されている。

今後も、学生の特性の把握と理解に努め、理解度に合わせた丁寧な支援を行ってほしい。

また、研究調査については、日頃取り組んでいる啓蒙活動をテーマにまとめるなど、日常の教育活動の中で取り組みやすい方法等を検討してほしい。

## 評価4 学修成果

評価項目		評価	
(1)	国試の合格率が100%となるよう、教職員一丸となって取り組んでいるか。	①各学年に対する指導方針が明確である。	4
		②国試の合格率が全国平均を上回っている。	5
		③国試の合格率が100%である。	5
		④学校独自の工夫をしている。	5
課題と解決策	各学年の理解度や授業進捗状況に合わせた国試対策を進めているが教員、学生が共有できる指導計画の作成が必要である。模擬試験の結果を踏まえ、個別にサポートする体制としている。 合格率100% (全国71%)		
(2)	卒業生の県内、市内就職率を高めるよう努力しているか。	①進路指導において、施設一覧等の情報提供を行っている。	4
		②就職者に占める県内就職率が80%以上である。	5
課題と解決策	全ての求人情報を公開しているが、今後は新着情報の公開に工夫が必要である。 4期生の就職率は100%のうち県内は73.3%である。		

### ◆ 評価委員からの意見

介護人材不足は深刻である。今後も卒業後は市内、県内に就職するという地域に根差した人材育成に取り組んでほしい。

## 評価5 学生支援

評価項目		評価	
(1)	質の高い卒業生を輩出するための努力を行っているか。	①個別面談によるきめ細かい指導を行っている。	4
		②必要に応じ学生とその保護者との三者面談を行っている。	5
課題と解決策	学生の自主性、主体性を尊重しながら丁寧な個別指導や三者面談などを実施している。今後も学生の個性の理解に努めタイムリーできめ細かな指導を継続していく必要がある。		
(2)	卒業生への支援を行っているか。	①卒業生にホームカミングデイを実施している。	1
		②卒業生も図書室を利用することが可能である。	5
課題と解決策	昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響で、ホームカミングデイは実施できなかったが、メールや電話により相談支援を行った。		
(3)	就職などの進路に関して学生に十分応じているか。	①就職に関して相談に応じるとともに、情報を提供している。	4
		②卒業生を学校に招き、先輩との交流会を実施する。	2
		③卒業生の来校時などに就職先の情報収集し、適宜、在校生に情報を提供している。	3
課題と解決策	ハローワークとの連携による就職支援講座の実施や個別的な就職支援を行っている。また、本校独自に就職説明会を開催し、1年次から就職に向けての準備に取り組んでいる。卒業生との交流会を企画したが感染予防のために中止となった。		

### ◆ 評価委員からの意見

適正に評価されている。

新型コロナウイルス感染症の収束後は積極的に卒業生と在校生の交流に取り組んでほしい。

## 評価6 教育環境

評価項目		評価	
(1)	教育目標達成に必要な施設設備及び教材が整っているか、学生の自主的学習の場が確保されているか。	①教育目標の達成に必要で適切な教材が整っている。	4
		②パソコンは授業時一人1台使用できるよう整備している。	5
		③学生の自主的学習のために必要な、教材や施設・設備を利用できるようにしている。	5
	課題と解決策	教育目標達成に必要な教育機器、施設設備は備えているが、経年劣化を考慮して計画的な更新が必要である。学生の自主学習支援の体制は整っている	
(2)	学生のための福利厚生設備は整っているか。	①学生が自由に利用できるホールがある。	5
		②クラブ・集団活動ができる場所がある。	3
		③学生が時間外でも利用できる場所がある。	4
		④長期休業日にも利用可能となっている。	5
	課題と解決策	学生ホールや教室等は時間外、長期休業中の利用も可能としている。	
(3)	図書室は利用しやすく学生に十分に活用されているか。	①図書室利用の為に情報提供などを掲示している。	4
		②蔵書・雑誌等は、定期的に整理又は破棄している。	3
		③蔵書が1000冊以上ある。	5
		④計画的に新刊書購入し、学生への最新の知識・情報の提供に努めている。	3
	課題と解決策	計画的に新刊書等は購入したが、蔵書、雑誌等の整理や破棄及び図書館利用のための情報提供には工夫が必要である。	
(4)	実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品等が整い、十分にその機能を果たしているか。	①学生数に応じたスペースが確保されている。	4
		②介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針に定められている設備・備品が整っている。	5
		③備品・設備の点検を定期的に行っている。	4
		④学生が備品・設備を学習のために使うことができるためのシステムが確立している。	3
	課題と解決策	学生数に応じたスペースは十分確保され、備品・設備については定期点検や使用前点検を行っている。	

### ◆ 評価委員からの意見

教育環境の整備に取組まれており、適正に評価されている。今後も複合施設のメリットも活かし、学生の要望に柔軟に対応していただきたい。

## 評価7 学校の周知、学生の募集

評価項目		評価	
(1)	より多くの応募者を確保することに努めているか。	①学校説明会は参加者の利便性（曜日・時間）を考慮して開催している。	4
		②各高等学校等に出向き学校案内を行っている。	4
		③学校関係者又は地域の方々に学校内見学を行い学校の特殊性を話し広報する。	4
		④入学者の出身高校などに学生生活の様子を報告している。	3
課題と解決策	春休み期間中のオープンキャンパス実施や進路ガイダンスへの参加、学校訪問に関しては特に重点校の複数回訪問に取組み、リモートによる個別相談も可能とした。新型コロナウイルス感染症の影響により進路ガイダンスは中止や延期、オンラインへの切替えになるなど厳しい状況となった。		
(2)	学校の存在を周知するため、ホームページ、携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしているか。	①前年度の評価を生かした広報計画を年度末に策定している。	3
		②ホームページ・パンフレット等は受験生が求める情報を掲載している。	3
		③ホームページは必要な情報を掲載している。	3
		④広報活動の結果、説明会参加者、受験生数の増加している。	2
課題と解決策	パンフレット、ホームページの随時更新や魅力あるチラシ・ノベルティの作成、ホームページ等へのアクセスの分析、市町村広報誌への掲載等を行ったが、受験生の増加には至らなかった。今後は、中学校等と連携して本校の周知や介護福祉士に対する理解を深めるなど、多角的、継続的な広報活動が必要である。		

### ◆ 評価委員からの意見

学生の確保に努力されている。

今後も、魅力あるカリキュラムや留学生の受け入れなどにより入学者を増やす対策を進めてほしい。

また、公開講座等の開催は学校を理解してもらう大切な機会にもなる。関連団体等が主催する講演会等とも連携し積極的に広報活動に取り組んでいただきたい。

## 8 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価	
(1)	学校内で講演等を設け地域や施設等の方が参加できるように努めているか。	①課題に沿った講演等を企画している(内容・講師・日程・時間数など)。	3
		②教職員ほぼ100%参加。	4
		③地域・施設等に参加を呼び掛けている。	1
課題と解決策	教養講座や校内文化祭で講演会を実施したが、感染予防のため地域、施設等への参加呼びかけは自粛した。		
(2)	地域社会の一員として、地域への広報・貢献・奉仕活動・連携の工夫を行っているか。	①地域住民を対象にした公開講座を年に何回か実施している。	1
		②地域のボランティア活動への参加を促している。	2
		③学校行事に地域住民等が参加している。	2
		④学校として地域の団体等の行事に参加している。	1
課題と解決策	市と連携し公開講座を1回開催したが、感染予防のため、学校行事への地域住民参加や地域ボランティア等への積極的な参加は自粛を促すこととなった。		

### ◆ 評価委員からの意見

新型コロナウイルス収束後は地域のボランティア活動への参加や文化祭などによる学校開放、新年度に計画されている中学生に対する出前講座など、介護に対する理解を深めるために積極的に取り組んでほしい。